

ToWN 企画ウォーキング (9月21日 火曜日 遠出) 見どころ案内

「久米川から小平へ (野火止用水、黒目川上流域、狭山・境緑道)」 7.5Km

参加費:一般 500円 (年間定額参加の方は除く) 9時30分 久米川駅北口 集合

※年間定額参加についてはスタッフにお尋ねください

当日の実施有無等の状況については、右下の ToWN QR コード (掲示板) で、朝7時以降に確認できます!!

《恩多野火止水車苑》

江戸時代、玉川上水の分水を利用した水車は各地に設けられ、市内には大岱村に野火止用水を利用して水車が設けられました。水車は小麦等の穀物を製粉し商品価値を高め、製品は江戸に送り出されました。現在の水車苑はそうした歴史を現在に伝えるために平成3年に復元されました。(東村山30景)



《万年橋のケヤキ》

野火止用水にケヤキが勢いよく根を延ばして、橋のように流れをまたいでいるので、俗に万年橋のケヤキといわれます。ケヤキは、武蔵野の農家の屋敷林として植えられ樹勢たくましい木です。(市天然記念物・東村山30景)



《黒目川上流域》

黒目川(柳窪)天神社前の流れ。東京の名水57選の湧水でもあります。柳窪緑地保全地域となっており、屋敷森として自然景観が残されている貴重な場所です。

(※今年7月の事前調査の時点では、湧水は残念ながら、右の写真のように枯れていました、が?)

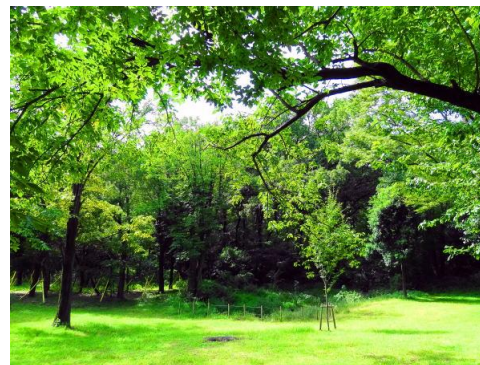


《さいかち窪》 ※さいかち: マメ科ジャケツイバラ亜科サイカチ属の落葉高木。別名、カワラフジノキ。

さいかち窪は、西武新宿線小平駅から小平霊園内を歩くこと約15分で辿りつきます。ここは、黒目川の源流域にもなっています。黒目川は東久留米市を北東へ流れ、支流の出水川、西妻川、落合川の流れを合わせます。その後、埼玉県新座市で妙音沢湧水の流れが加わると流量と勢いを増し、朝霞市を抜け新河岸川、荒川へと流れ込み、最終的に東京湾へ辿り着きます。

さいかち窪の中に入ると、奥から水のせせらぎがあり小川となっていました。湧水は黒目川の源流となります。

説明文はいずれも Web サイトより引用 (コピー)



《萩山四季の森公園》



《狭山・境緑道》

大正12年につくられた水道施設の上を走る緑道。今も水が地下を流れています。サイクリングロードと歩行者専用の遊歩道が、境浄水場から多摩湖まで一直線に延びています。

沿道には季節ごとの行事が行われる「ふるさと村」や「たけのこ公園」などの施設があり、また花小金井付近では、春には見事な桜のトンネルを楽しめます。



問い合わせ先: ToWN 事務局 尾崎 裕 090-2423-1461



ToWN QR